

バックキャスト思考によるライフスタイル 変革のイノベーション

准教授 古川 柳蔵
Associate Professor
Ryuzo Furukawa



Research on lifestyle innovation using backcast method

Our department has started in April 2010 and pasted 3 years. We studies the environmental issues in innovation process under environmental restriction, methodology of lifestyle design, research on the structure of sustainable life style, methodology of environmental problem solution, and application researches based on statistics and case studies in innovation. The lifestyle design project in Toyooka city, Hyogo prefecture has started. The methodology of lifestyle design using 90 year-olds interviewing won the Good Design Award 2013, Best 100, and Design for the future Award.

概要

環境技術イノベーション分野は、4年目を迎えた。環境制約下でイノベーションを促進するためには何をすべきかについて、社会科学を基盤とした統計手法を用いて、事例研究を行い、環境制約下におけるイノベーション・プロセス研究、持続可能なライフスタイル研究、ソリューション創出手法研究、及びこれらの実証研究を行っている。本年度は、持続可能なライフスタイル調査として「90歳ヒアリング」手法が GOOD DESIGN AWARD2013 グッドデザイン・ベスト100、未来づくりデザイン賞を受賞。社会普及の活動の一環として、兵庫県豊岡市などにおいてライフスタイル・デザインプロジェクトを進めた。

環境制約下におけるイノベーション・プロセス研究

政策研究大学院大学との共同研究である平成25年度環境経済の政策研究委託業務（グリーンニューディール政策等の産業影響分析と我が国環境技術の国際展開手法の検討）の一環として、海外へ展開する環境ビジネスの成功事例分析を行った。今年度は、HEMS、リチウムイオン電池を対象とし、シンガポールを訪問した。



Research in Singapore

また、90歳ヒアリング手法により得られたアイデアである「パークレット」（自然エネルギーを共有するコミュニティづくりのしかけ）をエコラボ前に設置し、ライフスタイル変革について実証試験を行う計画を進めてきた。その他、東京造形大学と共同で立ち上げた DESIS Japan の第4回 DESIS Japan

フォーラムを宮城県で開催し（12/1）、アジアから数名の有識者を招聘した。その結果、90歳ヒアリング手法を用いたソーシャルイノベーションをアジアで推進することが合意され、その活動を行うクラスターが設立された。

ライフスタイル研究

モノづくり日本会議ネイチャーテクノロジー研究会及び幹事会にて、ライフスタイル・デザイン及びネイチャー・テクノロジー創出システム開発を行ってきた。「バックキャスト思考でライフスタイルをデザインする」と題してシンポジウムで講演（12/11）を行うなどした。

兵庫県豊岡市において、90歳ヒアリング手法及びライフスタイルデザイン手法を用いて、豊岡における2030年のライフスタイルを描き、その具体化の検討に入った。持続可能なライフスタイル調査としての90歳ヒアリング活動は、広島、滋賀、大阪、奈良、三重、福井、東京、仙台、雄勝、名取、青森、沖永良部島などへ展開し、ヒアリング数はおよそ250件を越えた。



Good Design Award 2013, Design for the future Award



Good Design Award

これまで研究をしてきた手法である、ネイチャーテクノロジー創出システムが第3回生物多様性日本アワードを、90歳ヒアリングによるライフスタイルデザイン手法が、グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、特別賞「グッドデザイン・未来づくりデザイン賞」を受賞した。

ソリューション創出手法研究

ソリューション創出手法については、2030年のライフスタイルデザインから新ビジネスを考えると題して、クリエイティブ・シティ・コンソーシアムが主催する第2回ブラチナエッグハンティング・セミナーで講演（3/22）するなど複数回の講演会を行った。

また、SEMSaT ショートコースを2回開催し（7/7、12/19、東京分室）、外部の企業人に対して、ソリューション創出手法の概論を講義し、手法の普及を進めた。

鉄道関連企業との共同研究プロジェクトでは、90歳ヒアリングを利用したライフスタイルデザイン手法に、「インクルーシブデザイン」という障害者などからなるリードユーザーの視点を取り入れたイノベーション手法を連携させ、新たな町づくり手法、商品開発手法のトライアルを行うことができた。



Toyooka Lifestyle Design Project



RESD meeting in Kyoto University

社会貢献

「90歳ヒアリング」は、読売新聞（1/29）、中国新聞（1/30）、毎日新聞（4/27）、南海日日新聞（7/15）、日刊工業新聞（8/28）、河北新報（9/16）、FMヨコハマ（3/8）、NHKラジオ第一（7/12）、TBSラジオ（7/25）、FMなびり（11/14）で紹介された。『2030年のライフスタイルが教えてくれる「心豊かな」ビジネス』（日刊工業新聞社、2013）を出版し、バックキャスト思考のイノベーション手法を発信することができた。

RESDプログラムの2013年ワーキンググループミーティング（4/15-17、京都大学）に参加し、2013年度の開催計画を議論し、プログラムが実施された（6/30-7/21）。

エコプロダクツ2013において、バックキャスト思考について講演した（12/13）。



90 year-old interviewing in Ogatsu



90 year-old interviewing in Okinoerabu